

令和7年8月20日

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
活用事業の実施状況及び効果の検証について（令和6年度事業完了分）**

1 交付金の活用状況について

（1）交付金活用額：41,277,000 円（1事業）（交付金交付額：41,277,000 円）

（2）事業実施期間：令和5年4月1日～令和7年3月24日

※ 令和5年度予算を活用した事業のうち、本市で令和6年度に繰越して実施した事業です。

2 交付金活用事業の効果について

交付金を活用した全1事業（繰越分のみ）について定性的・定量的な観点から踏まえて「非常に効果があった」「効果があった」「あまり効果がなかった」「効果がなかった」の4段階で効果を検証し、「効果があった」という結果になりました。

検証結果	事業数 (総数：1事業)
非常に効果があった	0事業 (0.0%)
効果があった	1事業 (100.0%)
あまり効果がなかった	0事業 (0.0%)
効果がなかった	0事業 (0.0%)

事業の評価の状況については「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業検証結果一覧（令和6年度事業完了分）」のとおりです。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業検証結果一覧(令和6年度事業完了分)

※令和5年度予算を活用した事業のうち、本市で令和6年度に繰越して実施した事業。単位:円

No.	事業名	事業の概要	交付金額		総事業費 (実績額)	事業効果を検証する際 の視点		検証方法 (その他の 場合は効果 に記載)	評価 (4段階)	実施状況、実績 (定性的な効果)	事業効果 (定量的な効果)		担当部署名
			国への実施計画 提出時点	国への実績報告 提出時点							実績指標	備考	
1	就学前教育・保育施設 整備交付金	<事業概要> コロナ禍において原油価格・ 物価高騰に直面する事業者 に対し施設建設に要する負担 軽減を実施する。 <主な経費内容> 保育所等に係る建設に要す る工事費用等	80,955,000	41,277,000	615,606,700	物価高騰 支援	市民・事業 者支援	実績値の比 較	効果が あった	資材価格高騰などの影響を受ける法人に対して、影響額の一部を補助することで、予定している保育所の整備が円滑に進むように適切に支援を行うことができた。	【指標1】保育所の延べ床面積1㎡あたりの補助基準単価・1㎡あたり45千円の増額	本事業は保育所の延べ床面積1㎡あたりの補助単価310千円に補助基準面積を乗じて得た額を補助基準額とし、その4分の3を上限に建築工事費補助を交付するものだが、地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による増嵩分として、補助単価を355千円に増額することで、法人負担を一定程度軽減することができた。	こども未来局保育・幼児教育部 保育対策課
合計			80,955,000	41,277,000	615,606,700								

※表中「交付金額」の内訳「国への実施計画提出時点」の金額については、交付金を有効活用する観点から交付の上限を上回る金額を計上し、計画を提出している等の理由から、
実際の交付金活用額とは一致していません。